

令和4年度健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会、糖尿病対策会議〕報告

【委員構成】

- 職域保健関係機関5名（須崎労働基準監督署、全国健康保険協会高知支部、須崎地域産業保健センター、須崎商工会議所、土佐くろしお農業協同組合）
- 保健医療関係団体4名（高岡郡医師会、高知県薬剤師会高陵支部、くぼかわ病院、高知県歯科衛生士会西部支部）
- 住民代表2名（管内健康づくり婦人会連合会長、NPO法人くぼかわスポーツクラブ会長）
- 地域保健関係機関5市町（須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町）

【開催状況】

- 第1回（10月書面開催）：令和4年度の活動計画（案）について、関係機関が連携した健康づくりの推進について
- 第2回（2月7日）：令和4年度活動報告及び課題について、令和5年度の取組の方向性について

【協議内容】

		各委員からの取組報告（現状）	成果及び課題	令和5年度の取組の方向性
健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進	生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知家」健康企業宣言事業所は年々増加傾向。全国健康保険協会高知県支部として、事業所カルテ（事業所単位での健診・保健指導の実施率や、健診結果及び加入者の日常の食生活や生活習慣について見える化した資料）を発行しているが、活用数が少ない ・ハラスメント防止対策義務化の周知のためのセミナーを実施 ・事業所では事務作業や車の運転が中心で、職員の運動の機会が少ない ・ラジオ体操の実施や職員のリフレッシュのための休暇取得を促進 ・歯科検診の必要性を感じており、事業場健診と併せて歯科検診をしたいと考えている 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町として、事業所健診へ出向いたことで、国保対象の特定健診では関わる事の少ない若い世代（壮年期含む）へ働きかけができた <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健パスのアプリを活用した健康行動の定着 ・若年層の健康づくりの取組を後押しするための仕組みづくりの検討が必要 ・生活習慣改善に向けた産業医との事業所への介入やヘルスメイトとの連携が必要 ・事業所への健康づくりの取組の実践に向けた具体的な検討が必要 ・特定健診や企業健診での歯科相談・歯科指導の実施に向けた具体的な検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化 <ul style="list-style-type: none"> ア 生活習慣病予防の行動変容につながる取組の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・若年層を重点とした、健パス活用や健康増進事業への参加を推進 イ 地域と職域が連携した健康づくりの取組 <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を活用した職場の健康づくりや「健康経営」に関する働きかけ ・広く事業所や住民向けの情報発信 ウ 事業所での主体的な健康づくり（健康経営）の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業所等への「健康経営」の周知及び具体的な取組方法の提示 ・口腔の健康が全身の健康に影響しており、歯科保健の必要性について職場健診での歯科相談や歯科保健指導の実施
	血管病重症化予防対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による運動や栄養に関する勉強会を開催 ・健パスのスマートフォンへのダウンロードへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・町独自事業の対象年齢を「20歳以上」から「小学生以上」に拡大し、若年層から健康意識を持たせる内容に変更。毎日の取組を記録することで健康づくりの意識付けになっている ・事業所健診に出向き、歯科指導や事業所におけるメンタルヘルス対策・自殺予防等の健康教育を実施し、健診受診者の約4割が朝食欠食している現状がわかった ・メタボ予防のための運動教室の開催 ・量販店等で減塩や野菜摂取について啓発 ・健診会場にて喫煙者（20本以上/日）を対象に保健指導を実施 ・町独自の事業への薬局等の協力機関の拡大。健康イベントの開催により、知識の習得や行動変容のきっかけづくりになっている 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診時の尿中ナトリウム測定により食塩摂取量がわかり行動変容に繋げるきっかけづくりになったり、血圧手帳への記入により自身の血圧管理を行うなど、高血圧予防対策が進んできた <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率向上のための継続した働きかけが必要 ・プログラム活用に向けた、保険者と医療機関（主治医）との連携が必要 ・住民が正しい知識を持って行動変容できる支援が必要
	職域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・量販店等集客力のある場所で特定健診とがん検診のセット健診を実施 ・受診勧奨から保健指導までを専門機関に委託している ・事業場に対し健診後の事後措置について登録産業医と連携した助言 ・「要医療」「要精密検査」該当者に医療機関受診調査を実施 ・登録産業医と連携した、慢性腎臓病や糖尿病性腎症の労働者に対する支援 		
	保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・通院患者の定期的な検査に特定健診を組み込んでいる ・特定健診をかかりつけ医で受診できることの町と連携した住民への啓発の実施 ・血圧管理や栄養、運動療法の必要性を理解してもらうための血圧手帳への記入への支援や栄養指導日の案内 ・糖尿病重症化予防として町との連絡会の定例開催 		
	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発資料を活用した個別訪問による受診勧奨 		
	地域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上のための「国保加入者38・39歳への検査キット郵送事業」「個別電話勧奨」「受付時間指定による待ち時間の短縮」「予約制」等の取組 ・特定保健指導実施率向上のための「健診会場での予約」「利用の勧奨」等の取組（業者委託） ・特定健診会場で尿中ナトリウム推定塩分摂取量測定や味噌汁/吸い物の塩分測定チェックシートを配布 ・糖尿病重症化予防プログラムの一部委託により継続した支援 ・専門医による糖尿病講演会の開催 		